

香川県教育委員会事務局
保健体育課長 殿

学校名 高松第一高等学校
学校長名 細川 典宏

令和2年度 オリンピック・パラリンピック教育実施報告書

I 事業実施前の課題

昨年と同様、オリンピックに比べパラリンピックへの興味関心は低いことがアンケートで明らかとなった。座学で学習するだけでなく、パラリンピックの魅力に生徒自らが気づくことができるような体験活動や探究活動を行うことが課題である。

II 具体的な取組み

1 活動名（事前学習）：オリンピック・パラリンピックについての学習

(1) 日時：令和2年 8月25日（火）～9月2日（水）

(2) 対象者：第1学年 305名

(3) 活動概要及び工夫点（体育の時間で実施）

- ・計4時間実施した（1～2時間目：オリンピックについて 3時間目：パラリンピックについて 4時間目：スポーツと経済、スポーツ倫理について）
 - ・「I'm POSSIBLE」、「指導参考資料」を参考に動画やパワーポイントを作り、授業で使用した。
- (4) 活動の様子



【学習の様子】

2 活動名（中心学習）：ボッチャ体験

(1) 日 時：令和2年 9月2日（水）～9月16日（水）

(2) 対象者：第1学年 305名

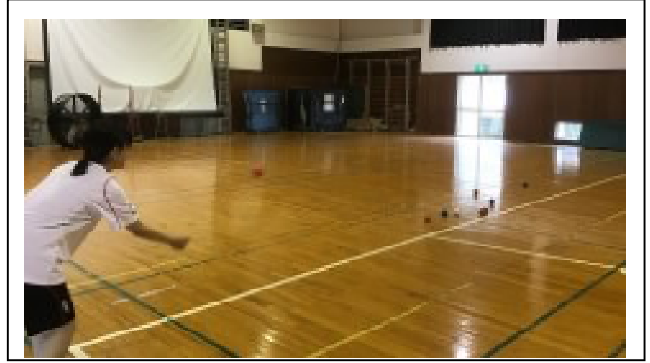
(3) 活動概要及び工夫点（体育の時間で実施）

- ・非利き腕で投げさせるなど、うまくコントロールができない状況でプレーさせたこと。
- ・バドミントンコートを基準にコートを設定したこと。
- ・車いすの代わりとして、パイプいすを設置したこと。

(4) 活動の様子



【ルール確認しているところ】



【ボッチャ体験の様子】

3 活動名（中心学習）：ブラインドサッカー体験

(1) 日 時：令和2年 9月2日（水）～9月16日（水）

(2) 対象者：第1学年 305名

(3) 活動概要及び工夫点（体育の時間で実施）

- ・常に2人1組で活動させた（片方は指示・補助役とした）。視覚からの情報なしで身体を動かす難しさを感じさせるだけでなく、サポート側の難しさも体験させたこと。
- ・公式ボールの数に限りがあったため、「I'm POSSIBLE」に掲載してあるゴールボールの代用品を作り、それを利用したこと。

(4) 活動の様子



【ドリブルしているところ】



【シュートしているところ】

4 活動名 (事後学習) : 新しいパラスポーツ種目を開発する

(1) 日 時 : 令和2年 10月20日 (火) ~12月22日 (火)

(2) 対象者 : 第2学年 132名

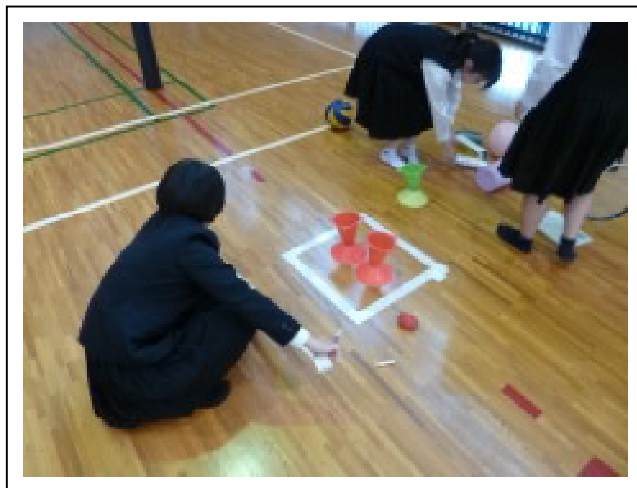
(3) 活動概要及び工夫点 (学校設定科目 : 未来への学びの時間で実施)

- ・これまでのオリパラ学習やパラスポーツ体験を踏まえ、新しいパラスポーツ種目を考案し発表させた。計6時間実施した (1~4時間目 : 種目の開発・発表準備 5~6時間目 : 発表・評価)
- ・教員からは一切アイデアは出さないようにし、ヒントになる指導も極力しないようにしたこと。
- ・自由度の高いグループ活動であったため、グループ毎の進捗度に差が出ないように、活動記録簿を用意し、目的的な活動を促したこと。

(4) 活動の様子



【新しい種目を考えているところ】



【発表の準備をしている様子】



【発表している様子】

Ⅲ 成果と課題

- パラスポーツ体験において、障がい者の立場や感覚を身をもって感じることで、社会のなかにある様々な障壁を減らしていくことの必要性を理解することができた。また、事後アンケートではパラリンピックへの興味がやや高まった結果が得られた。
- 「パラスポーツ種目を開発する」の授業では、どのようにしたらインクルーシブなスポーツ種目になるのか、誰もが楽しく安全にスポーツをするにはどのようにしたらよいのかを時間をかけて考えることができた。障がい者が生きやすい社会（共生社会、バリアフリー等）を考えるきっかけとなった。
- オリンピズムの理念を学習することで、オリンピックの社会的な価値を考えるきっかけとなった。
- △ 「未来への学び」で32種目の新しいパラスポーツが生まれた。しかし、時間数の関係で新しい種目を体験する段階までいかなかった。今後は、新しいパラスポーツ種目の体験、さらには外部から障がい者の方をお招きし、実際に体験してもらうなどの取組みを実施できるように改善していきたい。